

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Oct 2012.10  
No.1008



表紙

開町111年記念  
みんなで創ろう！  
日本一111mピザ

## 平成24年度開町記念式典

# 平成24年度 本別町開町記念式典



式辞を述べる高橋町長

本別町開町記念日の9月15日、山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が、中央公民館で平成24年度「開町記念式典」が執り行われました。式典には約70人が出席し、町民憲章の朗唱、黙とうのあと、高橋正夫町長が「昨年発生した東日本大震災から1年半が経ちました。我々は、被災地の皆様が一日も早く平穏な日々を取り戻し、真の復興・再生が実現されるようしっかりと行動します。さらに、先人より受け継いだ不屈の開拓者精神をいかなく発揮し、ふるさと本別はもとより我が国が直面する課題に立ち向かいながら確実に克服し、歩み続ける所存であります。功労者また関係の方々におかれましても従来にもまさるご指導ご支援賜りますようお願いいたします」と式辞を述べ、長年にわたり町発展のために尽力された二人の功労者を表彰しました。続いて方川一郎町議会議長が祝辞を贈り、受賞者を代表して登坂昇さんが「多くの人の励ましとお力添えのおかげで受賞できました。今日の感激を忘れず、町発展のためより一層努力してまいります」と謝辞を述べました。

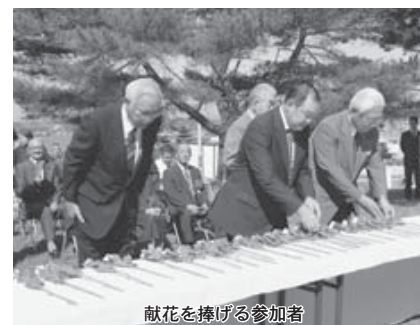


出席者全員による町民憲章の朗唱

## 開拓功労者謝恩祭

9月15日午前9時30分から山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が開かれ、開拓功労者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が献花を捧げました。

- |        |       |       |       |        |       |        |        |         |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|
| 前田金四郎翁 | 荒深四郎翁 | 井出英作翁 | 岡崎公一翁 | 幕内小太郎翁 | 新津繁松翁 | 鈴木勝太郎翁 | 東條儀三郎翁 | 開拓功労者八翁 |
|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|



献花を捧げる参加者

## 功労者表彰



受賞者を代表し、謝辞を述べる登坂昇さん



表彰状を受け取る弓削健さん

### 受賞者



弓削 健さん  
北3丁目4番地17

昭和60年本別消防団第1分団入団以来、現在まで27年の長きにわたり、地域の火災防除及び治安の維持に貢献されている。

平成14年からは、班長を務められ、消防団の円滑な運営に昼夜を惜しまず努力し、団の組織強化発展に尽くされた功績により、北海道知事表彰、北海道消防協会会長表彰などを受賞された。

これらの火災防衛活動に献身的に尽くされ、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



登坂 昇さん  
共栄54番地2

平成5年、本別町農業委員に就任し、現在まで通算7期、19年の長きにわたり地域農業の振興に貢献されている。

また、平成18年に共栄1自治会会長に就任し、自治会活動の円滑な運営と充実発展に努め、住みよい地域づくりに貢献されている。さらに、平成5年からは「本別駒おどり保存会」の会長として、後継者の育成に尽力されている。

これらの功績は広く尊敬に値するものであり、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



友好都市小松島市物産市「あゆの塩焼き」

開会式であいさつする  
野田仁実行委員長

浅草「仲見世」の手焼きせんべい実演

11.1mピザの完成!

熱気球体験試乗

ウエスタンホースの  
乗馬体験をする親子

ばんえい馬  
「ミルキー号」馬車

八代亜紀

歌謡ショー

奥華子

子供たちに大人気!「ふわふわランド」

ゆるキャラ大集合

本別義経太鼓保存会

軽快なHIPHOPダンス

本別駒おどり

大勢の来場者

Eポートによる川下り

ストラックアウトに挑戦

# 本別きらめきタウン フェスティバル2012

悪天候のため中止になった昨年のきらめきフェスタ。今年、準備や運営に関わった、実行委員会を中心としたメンバーの熱い想いが、「今年は大丈夫？」との不安を拭い去るような好天を呼び寄せ、最高の2日間になりました。

大輪の花を咲かせた「東十勝花火大会」

本別最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」(実行委員会主催)が9月1日、2日の2日間、利別川河川敷地特設会場で2年ぶりに開催されました。会場では、本別産食材を使用した料理を提供する7店を含む24店舗によるうまいもの市や、子供たちに大人気のふわふわランドで両日にぎわいを見せたほか、初日の「東十勝花火大会」では5000発の花火が本別の夜空を彩り、2日目には「キヤラクターショー」や歌手八代亜紀と奥華子出演の「歌謡ショー」など多彩な催しで盛り上がりました。会場を訪れた、町内外の約3万7000人の来場者は、見て・食べて・飲んで・遊んで、楽しい秋のひとときを満喫しました。

# ほんべつ学びの日

## 四つの風

子どもは、「神さまからの贈り物…」  
家庭、学校、地域がともに手を取りあって  
神さまからの贈り物を大切に  
家族の絆をふかめ、仲間と楽しく学びあい、  
地域でふれあう  
子どもに夢や目標を持たせることは大切なこと  
私たち大人も、子どもと一緒に学びませんか  
学びを、「光風、実風、祈風、夢風」  
四つの風にたとえた

**光風** 子どもが明るく豊かに  
活動できるように  
大人が手をとりあって  
子どもを育もうとする風…

**祈風** 悲惨な本別空襲を  
語り継ぎ 平和を祈り  
郷土と家族を愛し 命を大切に  
しようとする心を育む風…

**夢風** 自分が心から  
夢中になれることを考え  
未来に大きな目標をもって  
生きていこうとする夢を育む風…

**実風** ふるさとの大地の恵みに感謝し  
文化とスポーツに親しみ  
健康な心と身体を  
つくり出す力を育む風…

四つの風は、ひとり一人ができることから  
吹かせるもの。そして、生涯にわたって学び  
続けることが大切です。

みんなで、四つの風を吹き渡らせよう

問い合わせ

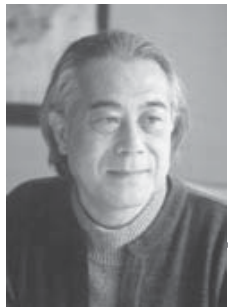
中央公民館内 社会教育担当  
☎ 22-5111

# 佐治晴夫さん

理学博士。東京大学物性研  
究所、県立宮城大学教授など  
を経て、2004年より鈴鹿短期  
大学学長。大阪音楽大学学  
院客員教授。2011年より学校  
法人享栄学園理事長兼任。  
1935年生まれ。「量子論的無」  
からの宇宙創生理論で知られ  
る。NASA（米航空宇宙局）  
の探査機ボイジャーに宇宙人  
への地球からのメッセージとしてパッハの音楽搭載を提案し  
たことは有名。現在は宇宙研究の成果を平和教育の一つの所  
在と位置づけ、全国の学校への授業行脚を行っている。主要  
図書『宇宙の不思議』『からだは星からできている』『女性を  
宇宙は最初につくった』『14歳のための物理学』多数。



昭和22年、東京生まれ。早稲田大学英文科卒業。大学在学  
中より童謡・童話の世界を志し、童謡詩人佐藤義美、まど・  
みちおに師事。昭和57年に童話集『ほしとそらのしたで』で、  
第12回赤い鳥文学賞を受賞する。自身の創作活動の傍ら、学  
生時代に出会った一編の詩に衝撃を受け、その作者である童  
謡詩人金子みすゞの作品を探し続ける。平成5年には、『童  
謡詩人金子みすゞの生涯』において、日本児童文学学会賞を  
受賞。近年は、全国各地で、金子みすゞの蘇りを多くの人々  
に伝える。呼び掛けにより、ネパールにみすゞの名前をつけ  
た小学校が建設されるなど、  
その活動は世界的となっている。  
また、東日本大震災以降、  
金子みすゞ募金を設け被災地  
の小中学校に金子みすゞの本  
を届ける活動をしている。平  
成15年4月、金子みすゞ記念  
館（山口県長門市）の館長に  
就任。



# 矢崎節夫さん



製作期間3か月。図書館  
ボランティアぶっくる会  
員による大作が、当日皆  
さんをお迎えます  
※図書館に展示中  
(10月10日まで)

## 夢風事業

# 「ほんべつ学びの日の集い」 を開催します

テーマ 「まちの中に四つの風を吹き渡らせよう！」

とき **10月12日** 午後6時15分～  
ところ **中央公民館大ホール**

本別町教育委員会では、  
今回で6回目を迎える『ほんべつ学びの日の集い』を  
中央公民館を会場に開催します。  
テーマは、『まちの中に四つの風を吹き渡らせよう！』。  
道外に派遣された子どもたちによる実践例を通じた発表や  
昨年開町110年記念講演をいただいた佐治晴夫氏と  
学びの日の集いで講話をしていただいた矢崎節夫氏の  
両名を迎え対談をしていただきます。



## 当日の日程

学校では出前授業が  
開催されます

午前10時30分  
矢崎節夫先生の出前授業  
(仮称)「みすゞさんと  
こだまし合って」  
(本別中央小学校)  
午前11時20分  
佐治晴夫先生の出前授業  
「星から生まれた私たち」  
—宇宙と人間の不思議な関係—  
(本別中学校)

## 学びの日の集い

午後5時30分  
受付  
お茶会  
日本の伝統文化である茶道を学  
び子どもたちが、伝統文化教室で  
学んだ成果を発表しますので、ぜ  
いお越しください。  
金子みすゞ展  
図書館ボランティアから多VS藍  
皆さんによる金子みすゞまつり  
の作品を展示しますので、「驚く  
べきこと」。

午後6時15分  
ほんべつまなびの日  
啓発セミナー

□開会・あいさつ  
□宣言文朗読  
□四つの風紹介  
午後6時30分  
実践事例発表  
□勇足小学校と徳島県小松島市立  
立江小学校との交流  
今年で22年目となる立江小と  
の交流。友情の心を育んだ子ど  
もたちが発表します。

□本別・南三陸の絆と交流研修会  
昨年、東日本大震災により南  
三陸町で実施できなかった本研  
修。被災地を初めて訪ねた子ど  
もたちの声をお聞きください。  
□駒おどり道外派遣事業  
青森県十和田市で駒おどり発  
祥の地を訪ね、本場のおどりを  
学んだ子どもたちが発表します。

午後7時15分  
対談「金子みすゞと四つの宇宙」

昨年の開町110年記念講演会  
で好評を博した物理学者佐治晴夫  
氏とおなじみの児童文学作家矢崎  
節夫氏を迎え、「金子みすゞとい  
う宇宙」をテーマに対談をしてい  
ただきます。

午後8時30分  
閉会

託児所を用意しておりますのでお気軽にご来場ください



# 教育行政の進むべき方向性

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理執行状況について学識経験者による意見を踏まえ、点検・評価を

行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。この報告書は、効果的な教育行政を推進するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成23年度の教育委員会の点検・評価を行い、今後の教育行政の進むべき方向性についてまとめました。

## 本別町教育委員会委員 (平成24年3月末現在)

職名	氏名
委員長	水谷 令子
委員長職務代理者	我妻 勇次
委員	布施 耕一
委員	山下 博志
委員(教育長)	中野 博文

## 平成23年度教育委員会点検・評価報告書(抜粋)

### 平成23年度教育委員会活動状況

教育委員会会議の開催状況

(1) 毎月1回の定例会議および臨時会議  
合計15回(46議案議決)

うち、移動教育委員会会議を町内5小中学校で開催

法規・規則等の制定および改正状況

(1) 教育委員会関係 規則の改正6件  
要綱の改正1件

教育委員会委員の活動状況

(1) 教育委員会関係事業 計38日・延べ67人

(2) 学校関係各種事業 計14日・延べ43人

各審議会等審議概況

(1) 社会教育委員会 5回

(2) 体育指導委員会 5回

(3) 文化財審査委員会 2回

(4) 文化賞審査委員会 1回

教育費予算の状況

平成23年度の一般会計教育費の最終予算額(人件費・繰越明許費等含む)は、6億3300万3千円となり、一般会計予算総額に占める割合は8.6%になりました。

自己点検評価

教育委員の活動では、授業参観後に移動教育委員会会議を開催するなど、円滑な会議運営と議論の活性化を図るとともに、学校行事等にも積極的に関与し学校教育の充実を努めたほか、各学長から学校経営方針の説明を受けるなどの意見交換も実施してきました。

また、本別町が進める「生涯学習によるまちづくり」を基本に「ほんべつ学びの日」の趣旨、理念の普及啓発活動に継続して取り組み、あらゆる町民の学習ニーズに応えながら芸術・文化・スポーツの振興を図り、教育委員会事務局との連携を密に適正な教育行政の執行に努めてきました。

今後の方向性

今後も教育委員会の重要性と教育委員の役割について認識を高め、町民の皆さんに信頼される教育委員会として教育行政の執行に努め、「第6次本別町総合計画」を基本に、教育環境の整備充実を図ります。学校教育では、確かな学力向上のために学習改善プランなどの充実、社会教育事業では、第7次社会教育中期計画(平成24～28年度)に基づいた各種事業の展開。さらに、「ほんべつ学びの日」の趣旨・理念の普及に努め、各種行事・事業の充実を図ります。また、「家庭・学校・地域」とのつながりを深めるとともに、適切な教育行政の執行と町民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を効率的に推進します。

「平成23年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」の全文については、本別町公式ホームページでご覧になれます。  
[http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/cat3/post\\_48](http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/cat3/post_48)

お問い合わせ  
教育委員会管理課総務担当  
0222-23331

# 国民年金

## 国民年金保険料免除申請制度

経済的、失業等の理由から保険料を納付することが困難な場合は、所得などに応じて保険料の全額または一部が免除となる「免除申請制度」のご利用をお勧めします。免除申請制度のご利用等により、免除区分を決定する際の所得制限額が異なりますので、詳細はお問い合わせください。



### 対象となる人

○所得が一定以下の人  
○天災、失業等の理由により保険料を納めることが困難な人

### 免除となる期間

免除期間は、7月から翌年の6月までです。原則として毎年7月に免除申請が必要ですが、全額免除については申請時に「継続申請」を希望すると、翌年度からは本人の申請手続きが不要になります。

## 免除区分

免除区分	納付額(月額)
全額免除	なし
4分の3免除	4分の1納付 3,750円
半額免除	半額納付 7,490円
4分の1免除	4分の3納付 11,240円

### 保険料の納め忘れに注意ください

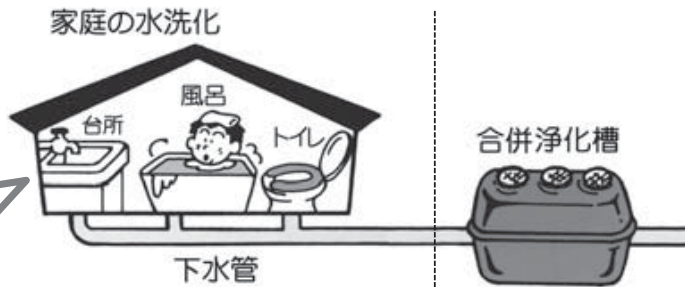
免除が認められても、全額免除以外の人は減額された保険料の納付が必要です。納め忘れるとその期間は未納扱いとなり、障がいや死亡といった不慮の事態が発生した場合に、障害年金や遺族年金などを受けることができなくなります。

詳しい  
住民票戸籍年金担当  
0222-8128

# 本別町全域(本別市街地の公共下水道区域を除く)で合併浄化槽が設置される地域は、平成25年度に設置を希望する人は、平成24年10月末日までにお申し込みください



## 個別排水処理施設の仕組みと



### 排水設備 (個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です

◎排水設備工事費  
…約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

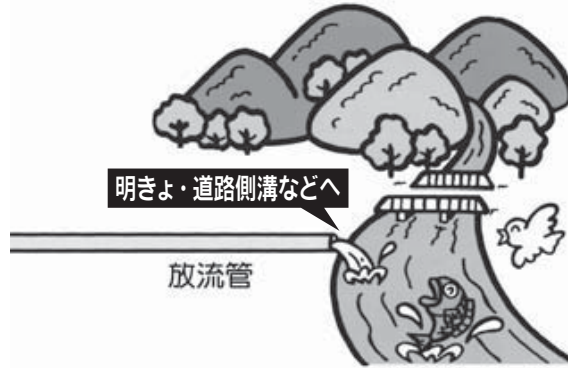
排水設備工事の融資制度  
(住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



## 受益者が負担する金額



### 個別排水処理施設 (町設置・町管理)

◎設置時  
受益者分担金

- ※10人槽までは100,000円
- ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります  
(翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎設置後

●使用料(毎月)

5人槽	…3,095円
7人槽	…3,872円
10人槽	…5,020円
11人槽以上	…10人槽の料金に1人槽増すごとに420円を加算した額

浄化槽の  
汲み取り・点検は  
町で行います

- 電気料(毎月)……約800円～1,800円  
(5人槽～10人槽の場合)  
浄化槽内のばつ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

平成25年度に設置を希望する人は、平成24年10月末日までにお申し込みください

お申し込み  
お問い合わせは  
建設水道課  
水道・下水道担当  
☎22-8122



◆職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額(平成23年度)	1,429千円		-	
平成23年度支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.35月分 (0.65)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.35月分 (0.65)月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・管理職加算10~25%	

② 退職手当 (平成24年4月1日現在)

	本別町		国		
	支給率	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	23.50月分	30.55月分	
勤続25年	33.50月分	41.34月分	33.50月分	41.34月分	
勤続35年	47.50月分	59.28月分	47.50月分	59.28月分	
最高限度額	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分	
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2%~20%)		定年前早期退職特例措置(2%~20%)		
1人当たり平均支給額	11,340千円				

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

(注) 退職手当1人当たりの平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額である。

③ その他の手当(普通会計)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(平成23年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成23年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 扶養親族たる子および父母等1人につき 6,500円 職員に配偶者がいない場合1人 11,000円 扶養親族たる子15歳から22歳まで 5,000円加算	同じ		14,701千円	198,662円
住居手当	〔借家〕月額16,000円以下の家賃→家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃→(家賃の月額-16,000円)の2分の1(2分の1限度額9,500円)に10,500円を加算 〔持家〕月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	〔借家〕借家限度額 27,000円 〔持家〕なし	19,216千円	176,293円
通勤手当	〔交通機関利用〕月額限度額 50,000円 〔交通用具利用〕片道5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 4,100円 10km以上~15km未満 6,500円 15km以上~20km未満 8,900円 20km以上 11,300円	異なる	〔交通機関利用〕55,000円 〔交通用具利用〕20km以上60kmまで5km刻みで支給額を設定	1,553千円	48,531円
管理職手当	12% 院長、副院長、医長 9% 主幹	異なる	課長 職定額 課長補佐 職定額	11,467千円	395,413円
夜勤手当	25%増し	同じ		118千円	39,333円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,096千円	91,333円
寒冷地手当	〔世帯主〕扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 〔その他の職員〕51,700円	同じ		13,616千円	101,611円

◆特別職等の報酬等の状況

区分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合	
		6月	12月
給料	町長	747,000円	1.90月分
	副町長	616,000円	2.05月分
	教育長	562,000円	合計3.95月分
報酬	議長	292,000円	1.90月分
	副議長	230,000円	2.05月分
	議員	185,000円	合計3.95月分

加算措置：当分の間支給停止

問い合わせ 総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧いただけます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようになっているかを公表することが地方公務員法で義務付けられています。町民の皆さんに町職員の給与などの概要をお知らせいたします。

◆職員の平均給料月額、平均年齢の状況

一般行政職 (平成24年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
大学卒	319,100円	42.1歳
短大卒	339,300円	45.3歳
高校卒	343,400円	45.8歳
中学卒	318,600円	43.3歳
全平均	335,100円	44.6歳

(注) 「平均給料月額」とは、平成24年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

◆一般行政職の職級別職員数

(平成24年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成23年4月1日現在)	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補	8人	7.3%	6人	5.5%
2級	主事、技師	4人	3.7%	4人	3.7%
3級	主査、副主査、主任	39人	35.8%	38人	34.8%
4級	主査、副主査	29人	26.6%	33人	30.3%
5級	課長、室長、課長補佐	17人	15.6%	16人	14.7%
6級	課長、室長	12人	11.0%	12人	11.0%
合 計		109人	100.0%	109人	100.0%

(注) 1 本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。  
3 平成19年度から6級制に移行。

◆職員の初任給の状況

(平成24年4月1日現在)

区分	本別町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円	172,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円	140,100円	148,500円

◆職員の給与の状況

人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口(平成23年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率B/A	(参考)平成22年度の人件費率
23年度	8,088人	6,962,042千円	86,685千円	1,348,675千円	19.4%	17.3%

# 支えよう公共交通

Part 9

本別の豊かで健やかな暮らしと活力のあるまちづくりを支え、人と環境にやさしい持続可能な公共交通を、ともに支えあい実現します。

(本別町地域公共交通連携計画基本目標より)

広報ほんべつ9月号では、本町の抱える課題を解決する方向を示す本別町地域公共交通連携計画で掲げる3つの目標について紹介しました。

今回は、その目標を達成するために、今後見直しや改善に取り組む施策について紹介します。

将来にわたり持続可能な公共交通を目指し、町民・行政・交通事業者が連携して、本町にとって必要な交通体系を築いていきましょう。



## 目標 ①

すべての町民が安心していきいきと暮らせる公共交通の実現

### 施策1

太陽の丘循環バスの運行計画見直しとコミュニティバスとしての機能向上

通院時の利便性を確保しながら運行計画を見直し、利用者や住民意見の反映、周知広報の徹底を図り、コミュニティバスとしての機能向上を目指します。

さらに太陽の丘循環バスを、町民の安心した暮らしと活力あるまちづくりを実現するための有効な手段として活用していきます。

### 施策2

郊外バス路線の運行計画見直しと効率化

郊外を運行しているへき地患者輸送バスと町有バスについて、利用実態にあった運行方法に見直し、効率化を図ります。

### 施策3

広域路線バスの利用促進に向けた施策展開の実施

帯広陸別線の利用者数減少を抑止し、経営環境の改善を図るため、利用促進に向けた施策を展開します。

また、帯広陸別線との兼ね合いも考慮し、町内バス路線の運賃体系整理を行うとともに、利用促進に向けた、町内間での利用者負担見直しなどの検討を進めます。

### 施策4

バス待合い環境の改善

利用の多いバス停から重点的に、バス停付近の施設や住民、住民団体と連携してバスを快適に待つことができる施設を整備し、バス待合い環境の改善を図ります。

また、乗り継ぎ拠点(本別コミュニティセンター、商工活性化センター等)などにある待合スペースを憩いの場として積極的に活用し、利用者の交流促進と地域情報の発信を図ります。

## 目標 ②

ともに支えあい、活力のあるまちづくりを支える公共交通の実現

### 施策5

町民・行政・交通事業者の持続可能な連携体制の構築

本町では、新たな公共交通の導入予定はないため、現行のバス路線の運行体制(バス事業の役割分担)を、町民・町民団体が主体的に参加できる体制にしていくことを目指します。

当面は、問題・課題の共有や運行計画立案などにおいて、町民と行政が協働で取り組む体制の構築を目指します。

## 目標 ③

人と環境にやさしい低炭素社会の実現に資する公共交通の実現

### 施策6

商店街と公共交通の連携による相互の活性化・活力あるまちづくりの支援

商店街で利用できるゆうゆうカードと連携した取り組みを検討し、相互の利用促進・活性化を図り、活力のあるまちづくりを支援します。

### 施策7

公共交通の利用促進施策の実施

新たな利用者を発掘すること、利用者を減少に歯止めをかけ、経営環境の改善を図り、環境にやさしいまちづくりを支援することを目的に、公共交通の利用促進施策を実施します。

### 施策8

各施策と一体的にモビリティ・マネジメント※を実施

①各施策と一体的にモビリティ・マネジメント※を実施  
②ほんべつ交通マップの作成・配布  
③ノーマイカーデーの推奨  
④バス車両のラッピングと愛称募集

※モビリティ・マネジメント  
一人ひとりの移動の様子や、街や地域の交通の様子を、いろいろと工夫を重ねながら改善していく取り組み。

### 施策9

低炭素社会の実現に向けた環境にやさしいバス車両の導入  
町内を運行するバス路線の運行見直しと併せて、環境にやさしいバス車両(ハイブリット車、電気バス等)の導入とバス車両の小型化を推進します。具体的には、利用実態に即した車両にすることで、効率化を図ります。

## 問い合わせ

### 企画振興課

企画・生涯学習担当

022-208-1211



ドキュメンタリー映画  
『タケオ』ダウン症ドラマーの物語

上映会&タケオ・ライブ



独特のリズムで観客を魅了

ドキュメンタリー映画『タケオ』ダウン症ドラマーの物語 上映会&タケオ・ライブ（実行委員会主催）が8月25日、中央公民館で開催されました。

主人公であるタケオ（本名=新倉壮朗）が、ドラマーになるまでの姿を追ったドキュメンタリー映画を上映後、タケオwith十勝N'barafaのライブがスタート。

タケオが登場すると、大きな拍手が沸き起こり、十勝N'barafa7人のほか、札幌や函館から駆け付けたアフリカ太鼓の仲間11人も加わり、アンコールを含めて全4曲を披露。会場内は、大きな手拍子と「タケオー」という歓声に包まれ、独特のリズム感ある演奏が、会場に詰め掛けた約300人の観客を魅了しました。



テンポよく太鼓をたたくタケオ

十勝N'barafa  
（とかちバラファ）

代表 鈴木隆一氏

2010年に本別町で結成された、アフリカ太鼓のグループ。

地域医療を担う青少年育成事業



モニターを見ながら、内視鏡を操作する児童

才能よりも努力。そしてやる気

地域医療を担う青少年育成事業 医療体験学習「夢を育てよう」（北海道・北海道医師会・本別町・町教育委員会主催）が8月24日、道教育委員会秋山雅行学校教育局次長をはじめとする多くの来校者が見守る中、本別中央小学校（岩野真志校長、281人）5・6年生97人を対象に、同校体育館で開かれました。

「夢を育てよう」をテーマに講演した長瀬清北海道医師会会長は、人間が長生きできるのは、医療の発達のおかげであると述べ、特にこれからの道内は高齢化社会を迎えることから、医療は欠かすことができないと強調しました。

その反面、道内では医師不足と地域医療の格差が深刻化していることを指摘。「才能よりも努力を積み重ね」世界で活躍するスポーツ選手や「一人ひとりのやる気」で学力全国1位に輝いた県を例に挙げ、自分のまちを助けるために、「努力とやる気」で、難関である医師、看護師などの医療職へ挑戦してほしいと語り、最後に「夢を早く持って、大きく育ててください」とエールを送りました。

多くの医療・検査機器などが用意された医療体験コーナーでは、町国保病院の一条正彦院長や看護師の協力を得て、普段触れることができない内視鏡、エコーなどを実際に操作できる貴重な機会も設けられ、写し出される映像を見ながら、子供たちは目を輝かせ楽しく学んでいました。

同日夜には、「地域の医療を考える」と題した講演会が町総合ケアセンターで開催され、一般町民約90人が参加。長瀬会長は「地方の医師不足を解消するためには、地域に根ざした医者が必要であり、そのためにも地元出身の医者育てることが急務である」と訴えました。



講演する長瀬清北海道医師会会長

医療体験学習「夢を育てよう」

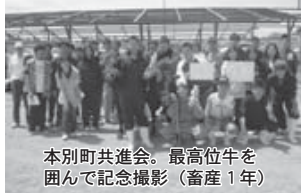
各学校の手作りページ

# HELLO 農業大学校



実習合間の休憩。  
みんなで、ほいチーズ！

## 畜産経営学科



本別町共進会。最高位牛を  
囲んで記念撮影（畜産1年）



削蹄実習。プロの削蹄師の技を  
一同真剣な眼差しで学んでいます



畑園2年プロジェクト  
中間発表会

## 畑作園芸経営学科



即売会で、自分たちの作物を  
たくさん売りました



畑園1年校外学習。北見農業  
試験場で海外の小麦に興味津々

## 農業大学校の紹介

農業大学校は、北海道農業・農村を守り、地域のリーダーとなつて活躍する担い手を育てるため、農場での実習を中心とした実践的教育を行っています。

教育内容には、2年制の養成課程（畜産経営学科、畑作園芸経営学科）があり、各自が課題を設定し、実習を通して農業技術を学んでいます。また、農業経営研究科では、養成課程を卒業した学生がさらに高度な経営管理能力や技術の習得に向け日々学んでいます。

## 農業経営研究科



実習先での一コマ。  
農業実習で技術を身につけます



東京太田市場で花きの視察。花きの新規導入  
に向けて、生産技術、市場調査も行います



マーケティング演習。  
6次産業化へ向けての事例調査

# 開町111年記念 みんなで創ろう！

日本一長〜いピザ



大試食会

## 日本一長〜いピザに挑戦！ 約350人が開町111年を祝う

みんなで創ろう！日本一111mピザ（チームほんべつ111実行委員会 With 十勝ピザ立国チーム主催）が9月8日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。

このイベントは、町民有志が企画したもので、地場産農産物を活用した111mの日本一長〜いピザをみんなの手で焼き、開町111年を祝おうというもの。

作られたピザは、地場産食材にこだわった十勝・本別町の美しい四季をテーマにした4種類で、生地幅が約18cm、使われた小麦粉は「きたほなみ」と「ゆめちから」合わせて約50kg。生地の上にはイモ、金時・黒マメなどのほか、約80kgのチーズがトッピングされました。正午のサイレンに合わせてかまに投入されたピザ生地は、順調に焼き上がり、今年8月18日に福岡県東峰村で更新された82.05mの日本記録を突破。その後、目標の111mをクリアし、113m70cmの日本新記録を樹立しました。お祝いの花火が打ち上げられるとともに、参加した約350人が万歳で祝福し、最後に、焼き上がったピザを全員でおいしくいただきました。

前田実行委員長は「みんなで創ることに意義がある」と力強く語り、大成功となった取り組みにスタッフ一同安堵の表情を浮かべていました。



焼き上がった長〜いピザ

特製のかまにピザを送りこむ「かま隊長」

## 元気に長生きするために 8 31

町内老人クラブ会員などを対象とした、本別町老人クラブ連合会（荒木又造会長）による「高齢者交通事故防止の安全講習会」が8月31日、中央公民館で開催されました。講習会では、道警本部交通企画課が歩行者体験講習と交通安全を呼び掛ける寸劇を披露したほか、本別警察署林崇史地域交通課長が、高齢者の事故防止と振り込み詐欺について講話を実施。同館駐車場で交通安全教育車「ほくと号」のドライブシュミレーターを使った運転講習も実施されるなど、参加した約110人は、元気に長生きするためにも交通ルールを守り、事故に遭わない、起こさないよう安全意識を高めました。



## パークゴルフで交流 8 30

第18回全十勝保護司会交流パークゴルフ大会（本別地区保護司会主催）が8月30日、太陽の丘パークゴルフ場で開催されました。大会には、十勝全6地区から46人が出場。12組に分かれた参加者は、交流を図りながら、4コース36ホールで個人と地区別団体戦の上位を目指し熱戦を繰り広げました。



## 十勝管内スポーツ推進委員研修会 8 30-31

平成24年度十勝管内スポーツ推進委員研修会（十勝スポーツ推進委員協議会主催）が8月30日、31日の2日間、町体育館と本別公園を会場に開催されました。初日は、「本別、オリンピックの夏に考える～バロン西と本別空襲～」と題した講演や施設見学、2日目は、一般参加者を含めたノルディックウォーキングに挑戦。約80人の参加者は、相互の交流を深めるとともに、スポーツを推進するための知識を深めました。



## 柏木町避難・消火訓練 9 1

柏木町自治会主催による避難訓練および消火訓練が、9月1日に実施されました。訓練は、震度5強の地震による建物の倒壊や火災を想定したもので、屋外拡声器による呼び掛けの後、自治会員78人が本別生活館広場に避難。続いて消防職員の指導による消火訓練が行われ、参加者は万が一の災害に備え、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。



## ブラスアンサンブル 創立30周年記念 定期演奏会 8 25

本別ブラスアンサンブル（唯野靖紀会長）創立30周年記念第27回定期演奏会が8月25日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。3部構成のステージでは、25人の演奏者がそれぞれ13のパートに分かれ「アニメのメインテーマ」や「クラシック」など計14曲を披露。第3ステージ途中には創立30周年を記念し、お寿司券やホテルディナー券などが当たる抽選会も行われ、約90人の来場者は、会場いっぱいに響き渡る迫力ある演奏とともに、楽しいひとときを過ごしました。



## 前教育委員長 若木佳則さん 前教育長 澤田 満さんが 教育功労者表彰を受賞 8 9

全国市町村教育委員会連合会ならびに北海道町村教育委員会連合会の教育功労者表彰を受賞した、前教育委員長若木佳則さん（美蘭別）と前教育長澤田満さん（柏木町）の賞状伝達式が8月9日町体育館で開かれ、水谷令子教育委員長から表彰状と記念品が手渡されました。これは、長年にわたる教育行政に尽力した功績が認められ贈られたものです。



## 老人ホーム ふれあいまつり 8 26

毎年恒例の町老人ホームふれあいまつりが8月26日、同ホーム駐車場で開催されました。会場では、焼き鳥やゆでトウモロコシを提供する屋台やフリーマーケットが出店したほか、本別義経太鼓保存会や健康ダンスなど4団体がアトラクションを披露。同ホーム、あさひの里、つつじの園利用者とその家族など約100人が、イベント満載の祭りを楽しみました。



## 全国出場を目指して 8 23

十勝予選を2年連続3度目の優勝で飾り、11月24日、25日に芦別市で開催される北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会に出場する本別中央ジャンプ少年団（谷藤有咲主将）の10人が8月23日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に全道大会出場の報告をしました。団員らは「優勝して全道大会に行きたい」「サーブを確実に入れたい」と意気込みを語り、中野教育長は「全道制覇を目指して、悔いの残らないように頑張ってください」と激励しました。





## 地域交流夏祭り

9 8

清流の里・清流ハウス利用者と地域の人との交流を目的とした地域交流夏祭り（清流の里主催）が9月8日、同施設駐車場で開催されました。お祭りには、施設スタッフなどによる屋台や流しソーメンがお目見えしたほか、余興も行われるなど、約150人の参加者がお祭り気分を味わいました。



## ばまキッズまつり

9 7

家庭教育支援事業「なかよし」による、ばまキッズまつりが9月7日、子育て支援センターで開催されました。子供たちは、普段遊んでいる部屋に並んだ手作りおもちゃのお店や、ゼリーすくいなどのゲームに大喜び。図書館ボランティアぶつくるによる絵本の読み聞かせや、育児支援サークルの竹とんぼ、すいーとばてとによる人形劇やパネルシアターも行われ、参加した47組98人の親子は、楽しいひとときを過ごしました。



## 北海道を満喫

9 4

北海道十勝の生活を体験しようと、大阪市立西高等学校の生徒67人が9月4日、修学旅行で本別町を訪れました。生徒らは、道の駅「ステラ★ほんべつ」で行われた受け入れ式の後、宿泊先となる19の受け入れ家庭に分散。牛の世話や地元食材を味わうなど、都会ではできない農村生活を満喫しました。



## 交通事故から身を守る

9 4・12

勇足小学校（曾根広至校長、45人）の全校児童が9月4日、同校前の国道242号線沿いで交通安全キャンペーンを実施しました。児童らは、交通安全のメッセージが書かれた手造りマスコットやしおりをドライバーに手渡し、「スピードの出し過ぎに気を付けてください」などと安全運転を呼び掛けました。9月12日には、本別中央小学校（岩野真志校長、281人）の全校児童を対象とした交通安全教室が同校体育館で開かれ、交通安全DVDを鑑賞したほか、本別町交通安全指導員の佐藤公昭さんの講話に耳を傾けるなど、日ごろから交通ルールをしっかり守ることの大切さを学びました。



## 本別高校 交通安全強歩大会

9 14

毎年恒例の第31回本別高等学校（松下龍一校長、207人）交通安全強歩大会が、9月14日に開催されました。距離は男子42.195km、女子30km。元気に高校前をスタートした生徒は、背中に交通安全標語の書かれたゼッケンを着けて、ドライバーや沿道の人に交通安全を訴えながら、思い思いのペースでゴールを目指しました。



## 高齢者の 楽しい集い

9 7

第7回高齢者の楽しい集いの日（本別町老人クラブ連合会主催）が9月7日、中央公民館で開催されました。集いには、町内老人クラブ会員30組55人が出演し、日ごろ練習した自慢の喉や踊りなどを披露。会場に集まった約170人から大きな拍手が送られました。



## 本別町チャレンジデー 銀メダルとベストPR賞を受賞

9 6

チャレンジデー2012の銀メダルとベストPR賞を受賞した本別町チャレンジデー実行委員会（大西光夫実行委員長）が9月6日、役場を訪れ高橋正夫町長に受賞の報告をしました。銀メダルの受賞は昨年に続き2回目で、今年は最も報道機関から取り上げられた件数が多かった自治体として、ベストPR賞も受賞。大西委員長は「自治会や報道機関にも協力してもらい受賞できた。来年は参加率50%を目標に、町民の皆さんと健康づくりに取り組みたい」と受賞の喜びと来年度への抱負を語りました。



## ド迫力のスピードで走り抜ける 9/16

国際ラリー大会「ラリー北海道」が9月16日、活だ一上押帯間の町道と林道が複合する延長10.78kmのスペシャルステージで開催されました。爆音と共に砂塵を上げて現れたラリーカーは、ドライバーの絶妙なアクセルコントロールでコーナーを曲がり、詰め掛けの観客約700人の前をド迫力のスピードで走り抜きました。



## 初秋の夜を楽しめ 9/14

32回目を迎えた夜でかけナイト（実行委員会主催）が9月14日、北1丁目から北4丁目商店街で開かれました。商店の前には、生ビールや焼き鳥などを提供する屋台のほか、しじみのつかみ取り、フリースローゲームなどの楽しい企画も用意され、まちに繰り出した大勢の人が、食べて・飲んで・遊んで、初秋の夜を楽しみました。



## 100歳長寿おめでどうございます 町敬老祝い金の贈呈

中村ナツエさん（北4丁目）が9月6日に100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝い金7万円と商品券3万円分が贈呈されました。

ナツエさんは、大正元年9月6日に福井県で生まれ、幼少のころに両親と共に陸別町へ入植。和裁と洋裁の免許を取得したナツエさんは、資格を生かし釧路市の洋服店に勤務していました。50歳代前半に町内木札内に住んでいた、妹の本寺シズ子さん家族と同居を始め、今年5月から、介護療養型老人保健施設「あづまの里」で生活しています。この日は、シズ子さんとおいの嫁がお祝いに駆け付け、100歳を迎えたことについてシズ子さんは、「長生きできたのは、皆さんのお陰です」と話してくれました。



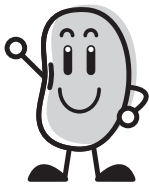
## 広報ほんべつにご登場いただける人を募集しています！

広報ほんべつには、「みんなのコーナー」として町民皆さんが参加し作ることができ、コーナーを平成18年4月から設けています。われこそは！と思われる人はぜひ広報紙面を飾ってください。 ※営利目的など内容によっては掲載できない場合もあります。

- ◆募集方法 必要事項の記載があれば、はがき・ファクス・メールなど応募方法はなんでも結構です
- ◆必要事項 住所・氏名・性別・年齢・電話番号を記載してください（匿名の場合は受け付けいたしません）  
※登場いただける人のアピールやコメントを記載してください

- ◆応募および問い合わせ先  
企画振興課広報電算担当 千089-3392 本別町北2丁目4番地1  
電話 22-81211 ファクス 22-3237  
Eメール kouhou@town.honbetsu.hokkaido.jp

※掲載の内容等については、広報担当にて手を加えさせていただく場合があります



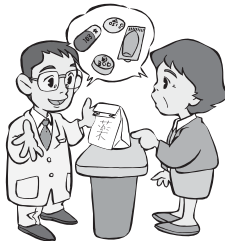
# みんなの健康

338

高齢化が進み、本別町でも65歳以上の割合が34%を超えてきました。それに伴い血拴性疾患や心臓弁置換などの手術後で、血液をサラサラにする薬で

## 内服中の薬と抜歯

ある抗凝薬（ワルファリン、バイアスピリン、パナルジン等）を内服中に歯科に来院する患者さんが増えていきます。現在では、抜歯等の外科的手術の際は内服中の薬を休薬しないで処置するのが一般的



となりました。

ワルファリン継続下での鎮痛剤内服（アスピリン等）で出血傾向を増すものがあり、心臓の弁置換等での内服中の場合、歯科での処置前に予防的抗凝薬投与が必要なものもありません。飲んでいる薬とその病名を歯科治療前に伝えることが大切です。

また、我が国では約1000万人の骨粗鬆症患者がいるといわれており、それに対する薬（ビスフォスフォネート系）

を内服中の人も増えていきます。特に3年以上の長期間

継続している場合は、抜歯等の外科的処置後に顎骨壊死（感染により腐る）を起こす例（1-2%）が報告されていて、できる限り外科的処置を行わないというのが通例です。例外もありますので飲んでる薬と期間を事前に伝えることが大変重要です。骨粗鬆症の人は内服を始める前に、歯科治療（特に抜歯等）を終わらせておく事をお奨めします。

医療法人社団 河合歯科医院  
医院長 河合篤史

# 銀河ホップアラムズ

一足寄町・陸別町から

## 足寄町

## 大収穫祭・秋の物産市



足寄町の農産物や特産品を生産者が自ら販売し、足寄町の味覚をPRします。

□とき 10月14日(日)

午前9時～午後2時

□ところ あしよる銀河ホール21イベント広場

## □内容

- ・野菜や豆製品、チーズやフワンぶき、手作りパン、漬物などの販売
- ・フリーマーケット
- ・じゃがいもの無料試食
- ・そば打ちの実演
- ・雌阿寒太鼓の演奏
- ・ヒップホップダンスの披露
- ・足寄ウォーキングラリー など

□詳細 あしよる観光協会  
☎2516131

## 陸別町

## 銀河の森天文台

## 「驚き！おもしろ科学実験」



普段見ることができない実験装置を使って科学を楽しもう。

□とき 11月17日(土)

午後2時～午後6時

□ところ 銀河の森天文台  
(陸別町宇速別)

□内容 霧箱、磁力計、物理実験装置を使用して実験をします

※当日は「フナタリウム」、「木星観望会」も併せて開催されます

□参加方法 予約は不要です。  
「自由に参加ください」

□問い合わせ 銀河の森天文台  
☎2718100

# 本のある暮らし 139

## 図書館の利用について

戸籍のまど

### お誕生

8月後半から  
9月前半の  
届出分

- 中山琥太郎<sup>こたろう</sup> 眞伊<sup>まゐ</sup> 8/6 勇足元町
- 西山咲輝<sup>さき輝</sup> 清光<sup>きよみつ</sup> 美穂子<sup>みほこ</sup> 8/20 南4丁目
- 西山咲美<sup>さきみ</sup> 清光<sup>きよみつ</sup> 美穂子<sup>みほこ</sup> 8/20 南4丁目
- 内田天梧<sup>てんご</sup> 勇介<sup>ゆうけい</sup> ちさと<sup>ちさと</sup> 8/23 清流町
- 井上才干<sup>さいち</sup> 正大<sup>せいだい</sup> 亜由美<sup>あゆみ</sup> 8/31 北8丁目
- 吉村虎之輔<sup>とらのすけ</sup> 勇輔<sup>ゆうすけ</sup> 香澄<sup>かすみ</sup> 9/2 弥生町

### おくやみ

- 岩田幸司<sup>さきし</sup> 63歳 8/21 北3丁目
- 坂地雅博<sup>みやひろ</sup> 64歳 8/23 北7丁目
- 石倉チカ卫<sup>ちかゑ</sup> 95歳 8/24 弥生町
- 小池香代子<sup>かほよこ</sup> 78歳 8/30 美里東上
- 石井ユキ<sup>ゆき</sup> 90歳 9/4 押 帯
- 福良哲一<sup>てついち</sup> 93歳 9/5 勇足西2
- 泉野 健<sup>けん</sup> 79歳 9/10 柏木町
- 山田三郎<sup>さぶろう</sup> 87歳 9/11 押 帯

### こんなとき、どうするの？

図書館では、利用者から色々な質問をいただいています。その中から、よく聞かれる質問とその回答について紹介します。

**Q1 初めて利用するときはどうすればいいですか？**  
 カウンターに備えてある「図書館利用者登録申込書」に必要事項を記入し、カウンターに提出してください。それをもとに貸出カードを作成します。貸出カードは、0歳の赤ちゃんから作ることができます。

**Q2 借りたい本の履歴を知りたいのですか？**  
 図書館では個人の読書履歴は残していません。貸出期限票（レシート）をご活用ください。

**Q4 借りたい本が図書館にはありますか？**  
 図書館に備えてある「リクエストカード」に記入し、カウンターに申し込んでください。他の図書館から取り寄せるか、購入を検討いたします。ご要望に添えなかったり時間がかかる場合もありますのでご承知ください。

**Q3 本をやぶいてしまいました。また、返さなければいけません。**  
 補修は図書館でいたしますので、そのまま図書館にお持ちになり、担当者にお申し出ください。

**Q5 本を返そうとしたら図書館の職員が怒りました。**  
 図書館入口横に「としょへんきゃくぼすと」がありますのでそちらに返却してください。また、フリー書架もご利用ください。



※館内には「声のポスト」も設置してあります。図書館についての声をお聞かせください

### わたしたちのまち

前月比  
 人口 **8,132人(-9)**  
 男 **3,995人(-7)**  
 女 **4,137人(-2)**  
 世帯数 **3,850戸(±0)**  
 〔8月末日住民基本台帳〕

お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
 (愛称:ぶつくる一丸)  
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112